

簡易評価型プロポーザル提案書評価要領

(長岡市保健事業支援業務)

1 目的

この要領は、簡易評価型プロポーザル方式により委託事業者を決定する場合における提案書の評価方法について、必要な事項を定めることを目的とする。

2 事業者の選考

- (1) 企画提案書及びプレゼンテーションの評価及び事業者の選考は、本市の職員で組織する選考委員会を設置して行う。
- (2) 選考委員会の委員は別に定め、健康増進課が庶務を行う。
- (3) 選考委員会は、企画提案書の提出者かつプレゼンテーションの参加者の中から、最も優秀と認められる事業者1者を選考する。

3 選考方法

- (1) 提案内容が要件を満たしていない場合は失格とする。
- (2) 企画提案書の記述項目及びプレゼンテーションの内容に関して、選考評価基準を基に各委員が採点する。
- (3) 採点結果が50点を下回った場合は失格とする。
- (4) 各委員の評価点を平均して算出したもの(少数第2位を四捨五入)を参加者の評価点とし、評価点の最も高い事業者を最優秀者として決定する。
- (5) 評価点が同点となった場合は、各評価員による選考投票で過半数を占めた参加者を最優秀者として決定する。1回目の投票で過半数を占めた参加者がいない場合は、最多得票数の参加者と次点の参加者で決選投票を行い決定する。
- (6) 提出された提案書が1件であった場合については、プレゼンテーション及びヒアリングをした後、選考委員会において審査、評価の上、協議し、適切と認めたときは、優秀な提案者として選考する。

4 選考評価基準

内容		主な評価の視点	配点
業務実績等		<ul style="list-style-type: none"> 本業務の内容と同種または類似業務の受託実績が充分であるか。 	10
提案書	基礎事項	<ul style="list-style-type: none"> 受託にあたり、業務内容への理解があり、積極性はあるか。 業務を遂行するための実施体制、連絡体制は適切か。 従事者は十分な専門知識、資格を有しているか。 適正なセキュリティ対策を行う体制等があるか。 地方自治体の保健事業に関する認識が適切か。 	20
	保健事業支援内容	<ul style="list-style-type: none"> 市の現状からの的確に課題を把握・理解、分析できるか。 課題に対して、実効性があり効果的な提案ができるか。 本業務の成果を高めるための創意工夫が見られるか。 保健指導従事者の指導技術や使用するツールに高い効果が期待できるか。 	50
	実施手法	<ul style="list-style-type: none"> 現状把握のための方法や分析手法は適切かつ具体的か。 実施行程、スケジュールは適切か。 高い効果を発揮する成果品が期待できるか。 	15
見積書		<ul style="list-style-type: none"> 見積額は適正か。 	5
合計			100